



<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2021 春号
No. 91

保護したツシマヤマネコが野生復帰しました！！



このツシマヤマネコ(Mo-93)は1月16日に箱わなによる誤誤捕獲で保護され、対馬野生生物保護センターへ収容しました。幸いにも命にかかるケガはなかったのですが、検査の結果、誤誤捕獲される前に負傷したと考えられる傷が背中にあり、治療が必要であったため、センターにて治療をおこないました。そして、2月3日に治療が終了し、保護された上対馬町大浦周辺で放獣しました。

このヤマネコ(Mo-93)には、無事に野生で生きていたかを調査するため、首輪型発信器をつけています。また、ケガの治療のため、背中の毛の一部がない状態です。もしヤマネコ(Mo-93)を見かけた際は対馬野生生物保護センター(0920-84-5577)までお知らせください。ご協力をよろしくお願いいたします。

今年もツシマヤマネコの繁殖シーズンが始まりました！

過去2年間、上島各地で幼獣(親離れをする前の仔ヤマネコ)の目撃情報や自動撮影カメラでの確認が多くなっています。ヤマネコの親仔にむやみに近づくと、母ヤマネコが育児放棄して(逃げて)しまう可能性があるため、遠くからそっと見守ってください。

今年もたくさんの目撃情報をお待ちしています！

(対馬野生生物保護センター 0920-84-5577)

仔ヤマネコ情報一覧(R1年度～)

幼獣や親仔ヤマネコの 目撃情報	自動撮影による 親仔ヤマネコの確認
2019/06/14 豊	2019/07/20 三根
2019/06/24 目保呂	2020/06/23 貝口
2019/07/02 佐須奈	
2019/07/17 目保呂	
2019/07/23 佐護	
2020/06/25 佐護	死体収容による幼獣確認
2020/07/09 目保呂	2019/07/12 泉
2020/08/22 一重	2019/08/05 佐賀
2020/08/28 田	2019/09/05 西津屋



貝口で撮影された
ヤマネコファミリー



三根 (ユクミ) で
撮影された幼獣

開館時間と休館日のお知らせ

現在対馬野生生物保護センターは台風による被害を受け臨時休館となっており、開館の時期は未定です。
ご来館を予定されていた皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただけますようよろしくお願ひいたします。
なお、開館日が決まりましたら当施設のHPでお知らせいたします。

対馬の環 News



ツマアカ女王蜂駆除大作戦が始まります

今年もツマアカ女王蜂駆除大作戦を行います！本作戦は今回で6回目となります。毎年の皆様のご協力の甲斐もあり、令和2年度はツマアカズメバチの巣に関する問い合わせが例年より減少しました。しかし、油断は禁物です。今後更にツマアカズメバチの数を減らせるよう、今年もより一層のご協力をお願いいたします。

ツマアカ女王蜂駆除大作戦についての説明会を右の日程で開催しますので、詳しく知りたい方はふるってご参加ください！

「ツマアカ女王蜂駆除大作戦」説明会を開催します

～参加された方には資材配布も行います～

内容：ツマアカズメバチ侵入状況、トラップ作成方法 など

※説明会は、新型コロナウイルス等の感染症予防対策を実施して開催します。また、今後の感染拡大状況によっては、開催を延期または中止する場合があります。

3月	3日（水）	上対馬町	上対馬総合センター
	4日（木）	上県町	上県地区公民館
	5日（金）	峰町	峰地区公民館
	8日（月）	豊玉町	豊玉文化会館
	9日（火）	美津島町	美津島文化会館
	10日（水）	厳原町	対馬市交流センター

開催時間
19時
から
20時

申込不要

交通安全ポスター展作品展示が終了しました



令和2年11月16日から令和3年1月27日まで、対馬島内において、第9回ツシマヤマネコ交通安全ポスター展の応募作品を巡回展示しました。今年は計190点ものご応募をいただき、どれもすばらしい作品ばかりで見応えのある展示となりました。このポスター展を通して、改めてツシマヤマネコの交通事故について深く考えてもらえたらしいなと思います。

ご応募いただいたみなさま、そして展示作品をご覧いただいたみなさま、ありがとうございました！

..... 退職のご挨拶



この2年間で、対馬の知らなかったことをたくさん知ることができました。(最初の驚きは、佐護の中に地区が7つあることでした！)これからは対馬市民の一人として、対馬のためにできることを考えたいと思います。お世話になった皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします^~^

対馬野生生物保護センター アクティブレンジャー 小川 美香

2年間、多くの人に助けられ支えられ、充実した日々を過ごすことができました。地域の温かさに触れ、おいしい食べ物を知り、趣味が増え、そして多くの方と出会いました。どれもが貴重な、大切な思い出です。2年前は知らない土地での生活に不安でいっぱいでしたが、今は対馬に来て心からよかったです。2年間お世話になりました。本当にありがとうございました。



対馬野生生物保護センター 事務補佐員 大谷 咲喜

やまねこ News

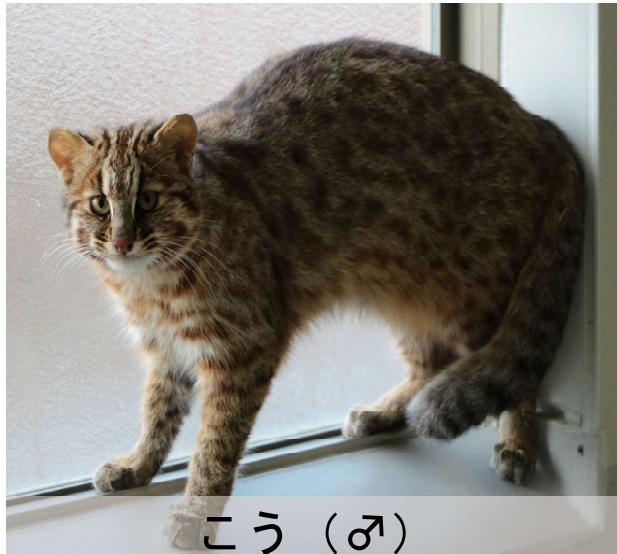
ステーションだより もみじ、お元気で!! 初めまして、こう!!

昨年の10月から野生順化ステーションで飼育していたNo.42「もみじ」(13才)が、先日、富山市ファミリーパークに引っ越しました。動物園生まれのツシマヤマネコでは初めて野生順化ステーションで飼育したツシマヤマネコで、私たちに多くのことを教えてくれました。新天地でも元気で長生きしてくれることを祈っています。

もみじ、ありがとう!



もみじ (♀)



こう (♂)

もみじと交代する形でNo.88「こう」がよこはま動物園から野生順化ステーションにやってきました。まだ1才のオスで、とても若い個体です。これから秋までの間、野生順化ステーションで生活して野生復帰のための技術開発に協力してもらう予定です。

こう、これからよろしくね♪

※野生順化ステーションの一般公開はしておりません。

ヤマネコの目撃情報募集中

対馬野生生物保護センター(ヤマネコセンター) 0920-84-5577 ※24時間対応



ヤマネコは
耳の後ろに
白い斑があります。

..... 退職のご挨拶



気づけば対馬での二度目の春が訪れようとしています。本当にあつという間の一年でした。対馬での生活は新しいことの連続で、非常に刺激的な経験となりました。四月からは大学に戻りますが、今後とも何らかの形で対馬と関わられたらと思っています。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

厳原事務室 アクティブレンジャー 加藤 憲伸



生き物クイズ

かたな現在(1月27日)の体重に一番近いのはどれ?

①350ml 6本缶セット×2つ分 ②お米5kgパック×1つ分 ③一升瓶のお酒(お酒1800ml+瓶の重さ)×2本分

答えはウラ(4ページ)をみてね!



「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

対馬にいる生き物をご紹介します！

第15回

ヤツガシラ
学名: *Upupa epops*

扇のような冠羽が美しい、この鳥の名前は「ヤツガシラ」
サイチョウ目ヤツガシラ科に分類されている体長26cm前後の鳥です。

特徴は名前の由来ともなっている派手な冠羽とよばれて
いる頭部の羽です。通常はリーゼントのように畳んでいます
が、縄張り争いや繁殖期等に扇状に広げて自身をアピールし
ます。

全国的に見れば非常に珍しい鳥ですが、対馬では秋と春に
比較的簡単に観察することができます。平坦な地面に降り立
ち、長い嘴で地面をつつきながらミミズや甲虫の幼虫などを
探す姿が観察することができ、集落の近くや庭先に現れるこ
ともよくあります。春先から初夏にかけてはまさに観察のベス
トシーズンとなりますので、ちょっとした休憩時間に探してみ
てはいかがでしょうか。



アピール中！



今回の対馬の人々この人は…

**No. 27 浅藻の漁師であり猟師 こんどう たけし
近藤健士さん**

博多から対馬の浅藻に来られたきっかけは何ですか？

対馬に来たのはやっぱり自然の中で暮らしたいと思ったからです。最初はキャンピングカーに乗って夫婦二人で対馬に飛び込んでしまった。浅藻に住もうと決めたのは龍良山を中心とする広葉樹林に囲まれた環境と潮の流れが良く、海と山と両方の資源に恵まれた場所だと感じたからです。

対馬に移住してみてどうですか？

移住してまもない頃は対馬の厳しい寒さの中、古い空き家ですきま風に耐えながら炭を焚いて暖を取っていました(笑)ただ、そういうつた苦労を工夫しながら一つ一つ解決していくのが対馬ならではの面白いところだと思います。

対馬の自然と向き合って生活する中で、何か思うことはありますか？

対馬にとって自然は最大の資源だと思います。豊かな森に多様な生き物が住んでいて、それは海にも繋がっていて。魚はもちろん今問題になっているシカやイノシシだって立派な資源で、肉は食べれば美味しいし売ればお金になります。対馬には色々な立場の人が住んでいますが、人もまた自然と同じように繋がって生きています。そんな自然と自然、人と人、そしてもちろん自然と人の繋がりの象徴となっているのがヤマネコだと思います。ヤマネコを中心として皆が同じ方を向いて持続可能な社会を作るため、対馬ならではの自然とのつきあい方を考えていけたらと思います。

編集後記

今年はじめのとらやまの森いかがでしたか？
今年も色々な情報を発信できるよう頑張っていきますので、よろしくお願いします！

今日の一枚 by 飼育員 薩浦

ヤマネコセンターで展示飼育しているヒメネズミのお部屋を模様替えしました！枯葉の付いた小枝を入れると忙しそうに葉をちぎって巣の中へ持ち込み快適にステイホームしていました。



生き物クイズの答え

正解:③

かたなは今6. 6kgのため更に1kgも重たいです！お買い物に行った際にぜひ体感してください。

人工授精によりツシマヤマネコの赤ちゃんが誕生しました！



写真提供：よこはま動物園ズーラシア

↑誕生2日目の様子



写真提供：よこはま動物園ズーラシア

生後3週間後の様子
目もしっかり開眼しました！→

令和3年3月18日(木)、横浜市立よこはま動物園(ズーラシア)において、ツシマヤマネコの赤ちゃんが人工授精により誕生しました。今回使用されたのは、ホルモン剤で卵巣の状態を適切にコントロールした後、腹腔鏡を使って精子を直接、卵管内に注入するという方法です。1月に人工授精を施した後、3月上旬に妊娠が確認され、無事出産に至りました。人工授精によるツシマヤマネコの繁殖成功は国内初の事例となります。

この赤ちゃんの成長の様子を、対馬野生生物保護センターの掲示物や映像で紹介しています。また、対馬島外の施設で飼育されているツシマヤマネコの情報も適宜更新していますので、お時間があればぜひセンターへご来館ください♪

○よこはま動物園ズーラシアについて

開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）
問い合わせ先：045-959-1000

※入園料などの詳細はホームページをご覧ください
また、一日の入園者数の制限や、土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要になるためご注意下さい。

ツシマヤマネコ交通事故防止 キャンペーンを実施しました！

今年度も環境省・長崎県・対馬市は「ツシマヤマネコ交通事故防止キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは対馬北警察署、対馬北地区交通安全協会のご協力のもと、春の全国交通安全運動と同時に実施されました。ご協力ありがとうございました！

対馬島内で車の運転をされる際には、人にもヤマネコにも優しい運転をよろしくお願いいたします！



開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝祭日の場合は開館、翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

※新型コロナウィルスの影響で臨時休館となる場合があります。ご了承下さい。



シカの捕獲に関する研修を2件開催しました

環境省は3月に、狩猟経験の少ない方を対象にした「捕獲体験型研修ツアー」と狩猟経験が豊富な方を対象とした「止め刺し手法に係る研修」、計2種類の捕獲研修を行いましたので紹介いたします！

・捕獲体験型研修ツアー

狩猟経験の少ない方に向けて、シカの誘因からわなの設置、シカの止め刺しまでの一連の流れを一緒に実施するツアーを11日間にわたり開催しました。

このツアーには地元のベテランハンターさんにも同行していただき、シカ捕獲の手法を教えていただきました。



・止め刺し手法に係る研修

伊奈鳥獣保護区及びその周辺地域で捕獲活動をされている方を対象に、2日間くくりわなや電気止め刺し器の作成、安全な止め刺し方法の講習を行いました。

参加された方々は、ご自身の手法の共有や講師への質問など積極的にされていました。

新職員・異動のご挨拶

はじめまして！内山のステーションに4月より配属された木滑 黄平（きなめ こうへい）と申します。この前は屋久島にいました。対馬のすばらしい自然をめいっぱい楽しみたいと思います！

釣り、狩猟始めます。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
自然保護官

きなめ こうへい
木滑 黄平



多くの野鳥が見たくて、新潟の専門学校からやってきました。対馬のことはまだわからことだらけですが、大好きな野鳥を通してヤマネコや対馬の自然を理解していきたいです。休日は野鳥観察で対馬の色々なところに出没するので見かけたら気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
アクティブレンジャー
ひきじ りょう
引地 稜



4月からツシマヤマネコ野生順化ステーションで飼育業務を担当しています。去年は対馬野生生物保護センターに勤務しておりました。勤務地も担当業務も変わりましたが、引き続き頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員

あそう ちあき
麻生 千晶



ヤマネコセンターで4年間お世話になりましたが、今年度よりツシマヤマネコ野生順化ステーションへと異動となりました。佐護から内山と対馬を縦断しましたが、より一層対馬の事を詳しくなれそうでワクワクしています！これからもよろしくお願いいたします！

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員

おおた ゆきひろ
太田 幸宏



やまねこ News

ヤマネコの追跡調査が無事終了しました

前号(91号)で野生復帰をお知らせしたMo-93について、経過観察のため放猟後も追跡調査を実施していましたが、3月25日に再捕獲・検査した結果、しっかりと野生で生活できていると判断できたため、首輪(発信器)を外し、改めて放猟しました！

追跡調査地周辺のみなさま、ご理解とご協力ありがとうございました！



治療をおこなっていた時のMo-93

ステーションだより Fk-89「みーちゃん」動物園へ!!



野生順化ケージ内を闊歩するみーちゃん

昨年の秋号でお知らせしたFk-89「みーちゃん」の続報です。昨年から野生復帰を目指してステーションでのリハビリの結果、運動能力を回復させることができました。しかし、後遺症の影響で出産に危険が伴うことから野生復帰を断念しました。そのため、来期の飼育下繁殖への参加を目指して今年の秋以降、動物園に移動する予定です。それまではステーションの野生順化ケージで飼育を行い、野生復帰技術開発のための知見収集に協力してもらっています。

新職員のご挨拶

はじめまして、池田です。幼少期を対馬で過ごして以来、約20年ぶりに対馬で生活することになりました。改めて対馬の自然の魅力を感じています。これから業務以外でも対馬の生活、文化のことを学んでいきたいです。よろしくお願いします。

対馬野生生物
保護センター
アクティブレンジャー
いけだ としひろ
池田 俊寛



4月から、飼育員としてお世話になります。星野悠太です。まだまだ至らぬ所も多い私ですが、人とツシマヤマネコ両方の幸せに向けて自分には何ができるのか一生懸命考え、行動していきたいと思います。これからどうぞよろしくお願ひします。

対馬野生生物
保護センター
飼育員
ほしの 星野 悠太



退職のご挨拶

約5年間、ツシマヤマネコ野生順化ステーションの飼育員として勤めさせて頂きました。鮎もどしの自然の中で対馬の生き物に触れ、多くの方々と出会うことが出来ました。本当にありがとうございました。



ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員

きりたに 桐谷 元基

生き物クイズ

次の写真のうち、ヒトツバタゴはどれでしょう。

答えはウラ(4ページ)をみてね！





★ 出典が「とらやまの森」の記事を引用される際には、
必ず「とらやまの森」であることを明記して下さい。

対馬にいる生き物をご紹介します！

番外編

ユーラシアカワウソ

学名: *Lutra lutra chinensis*

対馬では、平成29年度に国内38年ぶりに野生のカワウソが確認され、その後の調査で、採取した糞などの痕跡を遺伝子解析し、ユーラシアカワウソであることが判明しています。しかし、対馬にどのくらいカワウソがいるかなど重要なことが明らかになっていません。

そこで、今回は番外編と題しまして、ユーラシアカワウソの紹介と対馬でのカワウソ目撃情報を大募集することにしました！

ユーラシアカワウソは、食肉目イタチ科カワウソ属の種であり、ツンドラ以南のユーラシア大陸全土に生息しているカワウソです。夜行性の動物で、魚類や甲殻類などを食べて生活しています。手足の指と指の間にある水かきや、体が平べったく、水の抵抗を受けにくいことで、水中を素早く泳ぐことができます。また、手先がとても器用なんだそうです。

名前に「カワ」とつきますが、実は川だけではなく、海で生活することもあり、実際に、対馬では海岸や砂浜でカワウソの痕跡が見つかっています。



①～④にはユーラシアカワウソと対馬に生息しているイタチ科の動物の写真を並べてみました。どれがどの動物か分かりますか？正解は①ユーラシアカワウソ②ツシマテン（冬毛）③ツシマテン（夏毛）④シベリアイタチです。並べてみると全然違うのが分かりますね。カワウソの見た目の特徴としては、背面は黒褐色や灰褐色で、喉から頬や胸部、腹部にかけて灰白色になっており、尻尾が先にいくにつれて細くなります。テンヤイタチは太いままです。

もし対馬でカワウソを目撃した場合はヤマネコセンター(0920-84-5577)までご連絡よろしくお願ひします！

カワウソ写真提供：よこはま動物園ズーラシア

編集後記

すっかり日差しが強くなりだんだんと夏の到来を感じる時期になりました。色々な生き物たちも姿をあらわしてくれ、とても楽しい季節です。熱中症に気をつけて、思いっきり楽しみましょう！

今日の一枚 by 飼育員 田苗

現在、巣原野生順化ステーションで飼育しているツシマヤマネコのこう君は、4月15日で2歳になりました。まだまだ爪とぎ用の木の皮で一人遊びをしたりと幼いところもありますが、一生懸命訓練を頑張っています！



いきものクイズの答え

正解:③(①はミヤマガマズミ、②はマルバアオダモでした。)

いずれも対馬に自生する木本で、春に白い花を咲かせる植物です。ヒツバタゴは対馬、木曽川流域に隔離分布しています。どうしてこのように分布するのか不思議ですね。



<http://www.kyushu.env.go.jp/twcc/>

2021 冬号
NO. 93

ツシマヤマネコとの交通事故にご注意を

今年度はこれまでにツシマヤマネコの交通事故が5件（11月15日現在）発生しています。1.2件目の交通事故が8月4日に上県町佐護、上対馬町舟志で起き、佐護ではオスの成獣が、舟志ではメスの成獣がこの交通事故で死亡しました。3件目は10月22日に上対馬町一重～小鹿間の琵琶坂トンネル内で今年生まれの亜成獣のオスが交通事故に遭いました。幸いにもこのヤマネコは、交通事故直後に発見され、発見者の方の迅速な通報のおかげで生きたまま対馬野生生物保護センターへ保護され、現在治療中です。4.5件目の交通事故は11月6日に上県町佐護、峰町三根で起き、佐護では亜成獣のメスが、三根では亜成獣のオスがこの交通事故で死亡しました。



冬はツシマヤマネコが動きまわる季節のため、交通事故発生件数が増加しています！夜間から早朝の運転には特にご注意下さい！

ツシマヤマネコは車に轢かれてすぐは生きている可能性が高いため、もしヤマネコを轢いてしまった場合（ツシマヤマネコを車で轢いてしまっても、故意でなければ罪に問われることはありません）や、道路にうずくまっている、弱っているヤマネコを発見した場合は対馬野生生物保護センターまでご連絡いただきますようご協力をお願いいたします。

「ヤマネコを見かけた！」、「弱っているヤマネコがいる」など
ありましたら、対馬野生生物保護センターまでご連絡を！
TEL 0920-84-5577 24時間対応（夜間は転送されます）



下島でツシマヤマネコの地図を展示しています！

対馬空港や厳原港近くの6つのレンタカー店の協力を得て、ツシマヤマネコの生息状況を記した地図を展示してもらっています。下島の最新生息状況の公開や、ヤマネコの分布を伝えて、ヤマネコの交通事故を防ぐことが一番の狙いでです。

今後、空港や厳原港の玄関口など展示箇所を随時増やしていく予定です。

土台は段ボールと紙で、ヤマネコの生息密度の上に、かわいらしいメスヤマネコの顔をちりばめています。身近な材料で簡単に作れるため、要望があれば、作成素材の配布も検討します！



開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日及び振替休日の場合は開館、翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

※新型コロナウイルスの影響で臨時休館となる場合があります。ご了承下さい。



交通安全ポスター展を開催中です！

現在、ツシマヤマネコ交通安全ポスター展を対馬島内で開催中です。下記の場所、日程で島内を巡回しておりますので、ぜひおこしください！

今年の募集テーマは「ヤマネコの交通事故をゼロにしよう」で、島内から小中学生の部、一般の部合わせて計166点もの作品が集まりました。たくさんのご応募、ありがとうございました！

最優秀賞作品



小中学生の部
豊玉小学校
小宮 翠さん



一般の部
岩間 春奈さん

ポスター展展示日程

豊玉公民館

2021年12月6日（月）～12月23日（木）

対馬野生生物保護センター

2022年1月9日（日）～2月13日（日）

※ショッピングセンターパル、対馬市交流センター、上対馬総合センターの巡回展示は終了いたしました

シカの捕獲事業を実施しています



環境省では生態系保全の観点から、さまざまな関係機関と協力して、シカ対策事業を実施しています。

事業の一環として、国指定伊奈鳥獣保護区内でのシカの捕獲を6月と9.10月に実施しました。ご協力いただきましたハンターの皆さま、地域の皆さまありがとうございました。12月にも実施予定ですので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

本事業についてご不明点や疑問点などございましたら対馬野生生物保護センター(0920-84-5577)までお問い合わせください。

「あなたの鶏小屋は、大丈夫ですか？」

NPO法人どうぶつたちの病院では、長崎県の「縁といきもの賑わい事業」の助成を受け、上県町佐護をモデル地区として、家屋や鶏を野生動物被害から守るお手伝いをする取り組みを始めました。

秋から冬にかけては、テンやヤマネコに家の外の生ゴミが荒らされたり、鶏小屋が襲われたりする事例が後を絶ちません。罠で1匹2匹を捕まえても、また新しい動物が来て「イタチごっこ」になってしまことから、「小屋の修繕や周辺を整理する」という、後の手間が少なく動物にも優しい方法で解決を目指します。

※今年度中の本取り組みは佐護地区を対象としていますが、ヤマネコの被害でお困りの際はヤマネコセンターまでお気軽に電話ください。

連絡先：対馬野生生物保護センター

電話：0920-84-5577

担当：特定非営利活動法人 どうぶつたちの病院 薙浦（かけうら）

主催：NPO法人 どうぶつたちの病院

協力：対馬野生生物保護センター





動物園で今年生まれたツシマヤマネコ みんなスクスク元気に育っています。

今年は、ツシマヤマネコの赤ちゃんが4頭生まれましたので写真付きでご紹介します！



よこはま動物園ズーラシア
「ひい」♀

3月18日、よこはま動物園ズーラシアでは、ツシマヤマネコで初めての人工授精での出産に成功しました。名前は、人工授精で初めて生まれた赤ちゃんと言うことで、「一二三（ひい、ふう、みい）」の数え方にちなんで、「ひい」。

福岡市動物園 「アカツキ」♂



4月28日、福岡市動物園では2年ぶりにツシマヤマネコが生まれました。名前は、3候補の中からインターネット投票で「アカツキ」と名付けられました。これは、ツシマヤマネコがこれから増えていくことを願って、夜明けを意味する「アカツキ」から。



4月30日、名古屋市東山動物園では、双子のツシマヤマネコが生まれました。

名前は、ツシマヤマネコの故郷・対馬の地名である「佐護」と「佐須奈」から、オスは「さご」、メスは「さすな」と名付けられました。



「さご」♂ 東山動物園 「さすな」♀

ステーションだより

「みーちゃん」・「こう」、動物園へ



みーちゃん



こう

去年5月に上県町樺滝にて保護された「みーちゃん」は今年1月から、動物園生まれの「こう」は今年6月から、それぞれ広大な野生順化ケージで飼育し訓練をしてきました。昨年度訓練をした「もみじ」では確認されなかったモグラやヘビ類の捕獲・採食も確認できました。2頭は野生順化ケージでの訓練を通じて野生復帰技術開発に対して多くの知見と課題を提供してくれました。

「みーちゃん」と「こう」は今年の11月によこはま動物園へ移動することになっており、「こう」は人工授精の取り組みが終わるとステーションに戻ってくる予定です。2頭の子孫の誕生に期待しています!!

いきものクイズ

Q. アキマドボタルは次のA～Cのうちどれでしょう？

答えはウラ(4ページ)を見てね！





「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

第16回

対馬にいる生き物をご紹介します！

トビ

学名: *Milvus migrans*

今回はトビを紹介します。

対馬に住んでいる方でしたら見たことがない人が少ないのでしょうか？「ピーヒヨロロロ」と鳴いていて、空に弧を描きながら飛んでいる大きな鳥がいたらトビかもしれません。目の辺りが黒っぽいので、観察しているとアイブラックをしている野球選手を思い出します。実は魚や小動物を捕まえて食べるだけではなく、死肉等も食べるたくましい(?)一面も持っています。

観察してみるとなかなか面白いトビですが、人の食べ物を奪ってしまい問題になっている地域もあります。本来ならそういった行動を取らない鳥なのですが、人からの餌付けが原因で人の食べ物を奪うようになってしまふそうです。厳しい世界で生きている彼らが簡単にご飯を食べられる方法を知ってしまうと、それに執着してしまうのかも知れません。

トビが人との適切な距離を間違えないように、私たち人間側も気を付けなくてはいけませんね。



今回の対馬の人々は…

No. 28

一般社団法人 daidai

どのようなことをやられているのですか？

シカ・イノシシの捕獲事業や被害対策のコンサルティング、ジビエの販売や事業化支援、レザーラフト体験講座や商品の販売、学校教育などへの普及啓発活動など対馬のシカ・イノシシにかかわる様々なことを行っています。

また、今年からは耕作放棄地の開拓も始めました。ゆくゆくは厳原で地元野菜の販売もやっていきたいです。

今後の目標はありますか？

私たちの軸にはシカ・イノシシの対策があるので、まずは対馬のシカ・イノシシを減らすこと。また、地元の人や若い人たちが「シカ肉を食べたい！」と言った相談や狩猟を始めたりとシカ・イノシシへの意識が変わってきているので、対馬にシカ・イノシシがいる生活は楽しいんだよってことを知つてもらうためにも、まずは自分たちが楽しみながらシカ・イノシシに向き合って仕事をしていきたいです。

シカ・イノシシのオススメの食べ方を教えて下さい！

炭火焼きで部位の食べ比べをぜひやってほしいです！部位ごとの、肉の違いや繊維の違いを感じることができ、楽しいです。また、豚肉などと食べ比べていただくと味の違いを感じることが出来ます。他には、シカ肉をわさび醤油で食べたり、パクチーとクミンが入ったシカ肉餃子、キョフテ（トルコ風ハンバーグ）も美味しいです。

写真

写真の紹介文

一般社団法人 daidai

〒817-0021

長崎県対馬市厳原町今屋敷731

mail info@daidai.or.jp

Instagram [@daidai240](https://www.instagram.com/daidai240)

※レザーラフト体験などをご希望の方は、一度、メール又はDMへご連絡ください。

編集後記

私の今年の目標は「色々な生き物に会おう」でした。出会うために色々な場所に岡かけたのですが、中々出会うことが出来ませんでした。悔しいので来年に再チャレンジする予定です！

みなさんは今年の目標を達成することはできましたか？

今日の一枚 by 引地

先日海岸線を歩いていると海の方から1羽の鳥が飛んできて藪の中に入っていました。その鳥はシマセンニュウ。藪の中でせわしなく動きながら周りの様子を窺ってあります。その様子はまさに潜入(せんにゅう)しているかのよう。「名は体を表す」を実感したひと時でした。



いきものクイズの答え

正解はB (Aはゲンジボタル、Cはヒメボタルでした)

日本では対馬のみに生息し、秋に発生することからアキマドホタルと呼ばれています。



<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2022 夏号

NO. 94

2匹のツシマヤマネコが 野生復帰しました！

対馬野生生物保護センターでケガの治療をしていたMn-102（愛称：うねくん）が2月23日に、Mo-100（愛称：シマト）が4月15日に野生復帰しました！

どちらもシカやイノシシを狙ったくくりわなで錯誤捕獲されたヤマネコで、保護した時にくくりわながかかっていた脚に、くくりわなが原因と思われる外傷があつたため、センターで治療をしていた個体になります。治療が終了したため、それが保護された場所の近くで放獣されました。

どちらもケガの影響を感じさせないほど元気に山へと駆け抜けていき、一安心。これも、すぐに発見し、通報してくださった方々のおかげです。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました！！



Mn-102（うねくん）

放獣の際になかなかケージからでてこず、立ち会ったみんなの視線と心配を独り占めしたうねくん。追跡調査で元気に生活しているのを確認中！

Mo-100（シマト）

治療中の入院室で自分で自分の体を毎日のように汚してしまい、飼育員や獣医さんを困らせていたシマト。放獣の際は、軽やかに駆け抜けていきました！



くくりわな等で錯誤捕獲されてしまったヤマネコはケガをしている場合が多くあり、そのままにしてしまうと命を落としてしまうことがあります。故意でなければヤマネコを錯誤捕獲してしまっても罪に問われることはありません。ヤマネコが罠にかかってしまった場合は、まずはセンターまでご通報をお願いいたします！

24時間ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは
耳の後ろに
白い斑があります。

対馬野生生物保護センター（ヤマネコセンター）0920-84-5577 ※24時間対応

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日の場合は開館 翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

※新型コロナウィルスの影響で臨時休館となる場合があります。ご了承下さい。

対馬の環 News



ツシマヤマネコの交通事故が発生しました

4月16日に美津島町小船越の国道で、今年度1件目になるツシマヤマネコの交通事故が発生しました。

ツシマヤマネコは夕方～明け方に活動行動するので、その時間帯に運転される際は、野生動物に注意しながら車を運転していただきますようご協力を願いいたします。また、車に轢かれてすぐのツシマヤマネコは生きていることがあります、その状態でセンターへ収容できれば、治療し、命を助けられることがあります。

故意でなければツシマヤマネコを車で轢いてしまっても罪に問われることはありませんので、もしもツシマヤマネコを轢いてしまった場合や道路でうずくまっているツシマヤマネコを見かけた場合は、対馬野生生物保護センター（0920-84-5577）までご連絡をお願いいたします。



美津島町
小船越

新職員のご挨拶

4月より希少種保護増殖等専門員としてセンターに着任しました「畠」です。ツシマヤマネコの保全を通して多くの方々と良い関係・環境を作れるように、一日一日を大切に頑張ります。家族共々よろしくお願ひいたします。

対馬野生生物
保護センター
希少種保護増殖等専門員

はた だいじろう
畠 大二郎



4月より飼育員として入職しました五十嵐朋美と申します。専門学校では野生動物保護について勉強してきました。至らぬ点が多く日々学ぶことばかりですが、ツシマヤマネコ保護の力になれるよう精進していきます！どうぞよろしくお願いいたします。

対馬野生生物
保護センター
飼育員
いがらし ともみ
五十嵐 朋美



専門学生時代に参加したツシマウラボシシジミの飼育業務で対馬の自然に興味を持ち、全身で対馬を感じたくて東京からやってきました。今まで地元や関係者の方々が作り上げてきた活動を盛り上げていくのはもちろん、自分だからできることでツシマヤマネコをはじめとした対馬の自然を守るために貢献したいです。よろしくお願いします！

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
自然保護官補佐

みなみ ゆき
南 優妃



初めまして。この度ツシマヤマネコ野生順化ステーションで飼育員として働くことになりました。長谷夏純と申します。対馬について、ヤマネコについてまだまだ勉強不足ではありますが色々な経験をして成長していきたいと思っております。対馬の魅力を教えていただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員
ながや かすみ
長谷 夏純



やまねこ News



No.42 もみじ、No.73 ナミ、Fk-89 みーちゃん死亡のお知らせ。

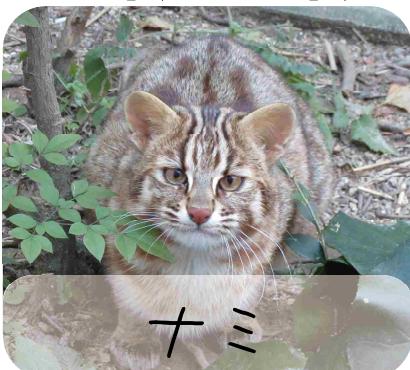
ツシマヤマネコの「みーちゃん」が令和3年11月30日によこはま動物園ズーラシアで、「ナミ」が令和4年1月31日に対馬野生生物保護センターで、「もみじ」が令和4年4月19日に富山市ファミリーパークで、それぞれ息を引き取りました。

「ナミ」は福岡市動物園生まれで平成28年11月に対馬野生生物保護センターにやってきました。「もみじ」は初めての動物園生まれの訓練個体として令和元年10月から令和3年2月まで、「みーちゃん」は初めての野生由来の訓練個体と令和2年6月から令和3年11月まで、ツシマヤマネコ野生順化ステーションで飼育していました。

この3頭は、ツシマヤマネコの飼育管理技術の向上や野生復帰技術の開発に多くの知見や課題与えてくれました。

これまで、3頭を応援し見守って下さった皆様には心から御礼申し上げます。

「ナミ」、「もみじ」、「みーちゃん」、今まで本当にありがとうございました！



ナミ



もみじ



みーちゃん

退職のご挨拶

ツシマヤマネコの飼育員として働かせて頂きました。ツシマヤマネコの様々な魅力を身近に感じる事ができ、本当にうれしく思います。この貴重な経験を大切にし、新天地でも元気に活躍して参ります。短い間ではございましたが、本当にありがとうございました。

対馬野生生物
保護センター
飼育員
ほしの ゆうた
星野 悠太



新卒で対馬へ来てから2年間、本当にあっという間でした。素敵なお経験を沢山させていただきました。ツシマヤマネコや対馬の自然に関われたこと、対馬で皆さんと出会えたことに感謝します！ありがとうございました♪

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
自然保護官補佐
なかもと あいみ
中本 合海



対馬ではいろいろな方にお世話になりました。そのおかげで3年間仕事を行うことができました。ツシマヤマネコの飼育に携わった経験を活かして、今後もより精進して参ります。本当にありがとうございました。



ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員
たなべ としき
田苗 慎輝



生き物クイズ

次の写真のうち

オオキヨウジガマズミはどれでしょう？

答えはウラ(4ページ)をみてね！





★ 「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

ステーションだより No. 94 さすな、野生順化訓練、進行中！

昨年12月、名古屋市東山動物園よりツシマヤマネコ野生順化ステーションに新たにツシマヤマネコNo. 94さすながきました。ステーションでは初めての、その年生まれの人の手で育てられた個体で、生きたネズミの捕獲が未経験の状態での導入となり、ステーションとしても挑戦的な取り組みと言え、新たな知見が得られることが期待されました。



訓練開始当初は、ネズミの噛み殺しや、アオダイショウの捕獲も上手にできませんでしたが、管理区域で訓練を粘り強く続けることで、これらの捕獲行動も上達してきました。その成果もあり、対馬の自然を再現した広大な野生順化ケージでは、これまでの訓練個体の中で最も早くノネズミ類（放飼から5日目）や鳥類（放飼から4日目）の捕食が確認できました。

今後も野生順化ケージの中でどんな行動を魅せてくれるのか、楽しみです！！

カワウソの目撃情報大募集！

平成29年に対馬でユーラシアカワウソが発見されて以降、生息状況に不明な点が多いことから環境省ではカワウソの目撃情報を収集しています！



カワウソ類は水辺を好む食肉目で、泳ぐことに適した体の特徴があります。カワウソやその痕跡を目撃した場合は対馬野生生物保護センターまで情報提供をお願いいたします！

手に水掻きがある



カワウソ写真提供：よこはま動物園ズーラシア

編集後記

この前、佐護の田んぼにコウノトリがやってきました。まさか対馬でコウノトリが見れるとは思わず、かなりビックリしました。なかなかのレアケースのようで、これも対馬の面白いところだなと感じました！

今日の一枚 by 木滑

春を代表するシュンランの開花を見ることができました。かつては足の踏み場もないほど咲いていたらしいのですが、近年は乱獲やシカの食害により数が減少してしまったといわれています。今回見つけた場所は藪に少し隠れた場所だったので、シカに見つからなかったのかもしれません。



きれいな緑の色合いが春を感じさせます。

いきものクイズの答え

正解は②。

オオチョウジガマズミは日本では対馬にのみ分布しており、3~4月かけて白色の花を咲かせます。②はコバノガマズミ。山に入ると林道端で見つけることがあります。③はマルバグミ。海岸近くに分布するグミで果実は食べられますが、やや渋みがあります。

2022年12月15日 対馬野生生物保護センター
季刊誌95号 〒817-1603 対馬市上県町佐護掉崎公園内
TEL:0920-84-5577 FAX:0920-84-5578
E-mail:twcc2011@yahoo.co.jp



<http://www.kyushu.env.go.jp/twcc/index.htm>

2022 冬号
NO. 95

ツシマヤマネコ、大移動中！

2021年10月に交通事故が原因で対馬野生生物保護センターへ保護された「トラ吉」が、治療を終え、2022年8月20日に上対馬町琴周辺で放猟されました！

そして現在、センターではトラ吉が無事に生きていっているかを調べるために、首輪をつけて調査を行っているのですが、なんと調査によってトラ吉が上対馬町琴から峰町吉田まで移動していることがわかりました（11月11日現在）これには職員もビックリ。しかも、真っすぐ吉田に向かったのではなく、豊玉町貝口付近まで移動した後に豊玉町和板を経由して、向かったのです。その距離なんと、直線移動距離で約55km！これは地図上で計測した値のため、実際は山を登ったり下ったりしているため、もっと移動していると考えられます。凄すぎるぞトラ吉！



保護された時は亜成獣でしたが、今は立派な成獣へ成長しました

トラ吉



また、今回の調査で、頻繁に道路沿いを移動したり、横断しているのが分かりました。これはトラ吉だけではなく、他のヤマネコも同じように行動すると考えられます。対馬島内で車を運転する際はツシマヤマネコにご注意下さい。

ツシマヤマネコは車に轢かれてすぐは生きている可能性が高いため、もしヤマネコを轢いてしまった場合（ツシマヤマネコを車で轢いてしまっても、故意でなければ罪に問われることはありません）や、道路にうずくまっている、弱っているヤマネコを発見した場合は対馬野生生物保護センターまでご連絡いただきますようご協力をお願いいたします。

冬は交通事故発生件数が増加しています。1件でも多く、ヤマネコの交通事故を減らすために、夜間から早朝の運転には特にご注意下さい！ご協力のほどよろしくお願ひいたします！

24時間ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは
耳の後ろに
白い斑があります。

対馬野生生物保護センター（ヤマネコセンター）

0920-84-5577

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日及び振替休日の場合は開館、翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

※新型コロナウィルスの影響で臨時休館となる場合があります。ご了承下さい。



ツシマヤマネコ交通安全ポスター展を開催中です！

現在、対馬島内で開催しているツシマヤマネコ交通安全ポスター展ですが、残るところ対馬野生生物保護センターでの展示だけになりました。以下の日程で展示していますので、ぜひセンターへお越しください！

最優秀賞作品



小中学生の部
難知中学校
永留 心花さん

一般の部
中川 みほさん

ポスター展展示日程

対馬野生生物保護センター

2023年1月4日（水）～2月12日（日）

※ショッピングセンターパル、対馬市交流センター、上対馬総合センター、豊玉公民館の巡回展示は終了いたしました

ツシマヤマネコの錯誤捕獲にご注意を！

聞き慣れない言葉ですが、「錯誤捕獲」をご存じでしょうか？錯誤捕獲とは捕獲対象以外の動物が誤って捕獲されることをいいます。対馬ではツシマヤマネコの錯誤捕獲、特にくくりわなによる錯誤捕獲が近年増えています。（令和3年度3件発生）

くくりわなにかかったツシマヤマネコは一見すると健康そうであっても、くくられた部分の毛を剃ると皮膚に炎症を起こし治療の必要な場合があります。くくりわなの縛め付けによる怪我は早期の治療によりその程度を最小限に抑えることができます。

くくりわなにかかったツシマヤマネコを発見した場合には、対馬野生生物保護センターまでご連絡ください。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

※故意でなければツシマヤマネコを錯誤捕獲しても罪に問われることはございません。



新職員のご挨拶

8月から配属しました。主に対馬で増えてきているシカに
関して調査、対策をしていきます。
ヤマネコにとってもみなさんにとってもよりよい対馬を一緒
に作っていきたいと思っていますのでこれからよろしくお願ひします。
対馬自然保護官事務所 生態系保全等専門員
橋田 竜一(たちばんだ りゅういち)



今年生まれたヤマネコの名前が決定しました！



No. 97 つむぎ



No. 100 チョコ
No. 99 りん

～なまえの由来～

- ・No. 97 (つむぎ) : 人工哺育で命や人の思いを「紡 (つむ) ぐ」より命名。
- ・No. 99 (りん) : 生態系等つながりを考えて輪っかの「輪 (りん) 」より命名。
- ・No. 100 (チョコ) : 父親チョビの名から「チョ」の字を受け継ぎ命名。

「つむぎ」は「結 (ゆい) 」の子で4月に帝王切開で生まれました。「りん」と「チョコ」は「妃 (ひめ) 」の子で7月に自然分娩で生まれた3頭のうちの2頭です。昨年度に対馬の野生下から動物園（飼育下）に入ってくれた「チョビ」がこれら3頭の父親で、令和4年度のツシマヤマネコの繁殖に大きく貢献してくれました。冬となり、ヤマネコの繁殖期がまたやってきました。野生下でも飼育下でも個体数が増えることを期待したいです。

遊び盛りで育ち盛りの子猫たちをよろしくお願いします！

ステーションだより ステーションのヤマネコが移動します！

11月10日、No. 88 「こう」とNo. 94 「さすな」が、よこはま動物園に移動しました。は野生順化訓練の試行の他、ステーションの新たな取り組みとして繁殖期の行動観察や新型首輪の試着、交通事故を防ぐための試験に協力してもらいました。2頭はよこはま動物園で人工授精に参加する予定です。



No. 88 こう



No. 94 さすな

ステーションの新たな導入個体として、福岡市動物園で今年生まれたNo. 97 「つむぎ」とNo. 99 「りん」を導入することが決まりました。この2頭はNo. 94 「さすな」に続く亜成獣期での導入となるため、さらなる知見の集積が期待されます。野生順化訓練を通して、様々な能力を発揮できるよう万全な準備をしていきたいと思います。

こうとさすな、元気でね！つむぎとりん、よろしくね！

～前号「いきものクイズ」の訂正について～

前号の生き物クイズ『次の写真のうち、オオチョウジガマズミはどれでしょう。』で正解は②とあります。正しくは①が正解です。申し訳ありませんでした。

いきものクイズ

イチョウに実る銀杏（写真）は食用に利用されます。イチョウの種子の可食部（銀杏）は次のうちどれに当たるでしょうか。

- ①外種皮 ②中種皮 ③内種皮（殻） ④胚乳

答えはウラ（4ページ）をみてね！





「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

対馬にいる生き物をご紹介します！

第11回

チョウセングンバイトンボ

学名: *Platycnemis phyllopoda*



チョウセングンバイトンボは、朝鮮半島や中国、極東ロシアに分布するトンボの1種で、国内では対馬にのみ生息が確認されています。大きさは3cm~4cmで、オスの脚の白色で軍配状に広がる特異な形態に特徴があり、グンバイトンボの名前の由来ともなっています。

チョウセングンバイトンボの日本国内初記録（報告）は令和4年3月と最近で、新たに日本で生息が確認された種として、過度な捕獲の集中や採集の誘発により個体群が消滅する可能性があることから、緊急的に個体の捕獲や販売等を規制するため「種の保存法」に基づき緊急指定種に指定されています。このため、チョウセングンバイトンボを捕まえたり、販売・譲渡したりすることはできません。運よく見つけた際には、とるのは写真だけにして、そっと見守ってくださいね。そしてぜひ対馬野生生物保護センターへの情報提供をお願いします。貴重な生き物が生息する対馬の豊かな自然環境を、みんなで守っていきましょう！



今回の対馬のあの人この人は…

つしましりつ としょかん しゃにん くさば としひこ
No.29 対馬市立つしま図書館 主任 草葉俊彦さん



オススメの本は
「ツシマヤマネコ」

対馬の森、野生との共存をめざして
ヤマネコだけではなく、人と自然との共存
についても深くかかれています。

「つしまん」
図書館生まれの
推定10歳。
図書館まつりで
大活躍！



つしま図書館

住所: 厳原町今屋敷661-3
TEL: 0920-52-3900
開館時間: 午前10時~午後6時
休館日: 月曜日、第3木曜日、祝日
(その他の休館日はホームページをご確認下さい)

どのようなお仕事をされていますか？

本の貸出・返却、資料の収集・修繕、図書館まつりなどのイベント開催、レファレンスサービスなどです。レファレンスサービスは、皆さまの調べものを私たちが図書館の資料等を使ってサポートするサービスで、誰でもご利用が出来ます。

対馬が古くから大陸との中継地として重要な役割を果してきたことから、島外の方からの専門的な質問なども多く受け付けています。

ツシマヤマネコについてどう思いますか？

対馬のシンボルであり、人と自然との共生を考える上でもとても大切な存在だと思います。

個人の感想ですが、対馬のこどもたちにはヤマネコの大切さが十分伝わっていると思いますが、もっと身近に本物のツシマヤマネコを見られる場所があればいいなと思っています。

また、ツシマヤマネコに関する書籍自体が少ないので、ツシマヤマネコに関する書籍化の情報などがありましたら、ぜひ図書館までお知らせください。

今日の一枚 by 橋田

シカ頭数調査の一環として上県町付近にてライトセンサスを行いました。

夜中に懐中電灯を使って光に反射したシカの目を頬にあたりを照らしながらシカを探すのはまるでナイトサファリのようでした。（見えますでしょうか？？）



いきものクイズの答え

正解は④胚乳でした。イチョウの種子の胚乳には栄養が豊富に含まれています。
香りが独特で好き嫌いが分かれるかもしれません、銀杏の香りを生かす食べ方を考えてみてはいかがでしょうか。

下島(対馬南部)で ケガをしたツシマヤマネコを保護しました

令和5年4月16日、美津島町洲藻の住民の方から「足をケガをしたヤマネコがいる」との通報がヤマネコセンターへありました。頂いた情報をもとに、当日捜索を行いましたが、発見できなかったため、カメラと捕獲用ワナを現場へ設置したところ、3日後の19日に捕獲成功！ケガにより、左前肢がちぎれてしまいなんとも痛々しい姿でしたが、断脚手術を行い、一命をとりとめました。

保護したMs-108「愛称：Beny Sumo（ベニー スモ）」は、現在ヤマネコセンターで治療を行っています。



写真提供：通報者の方
※画像の一部を加工しています

【発見された時の様子】

検査の結果、ケガの原因はくくりわなによる誤認捕獲と推察されました。



【治療後の様子】

現在は、ヤマネコセンターで治療後の経過観察中です。

ケガしたヤマネコを放っておくと、感染症にかかったり、エサを獲れずに弱ってしまうなど、命にかかわります。

今回、生きているうちにヤマネコを保護できたのは、通報があったからこそ。もしも様子のおかしいヤマネコを見かけたら、すぐに0920-84-5577（はよここならせならせ）まで、ご連絡をお願いいたします！

そして、ヤマネコ捜索にご協力いただいた地元住民の皆さん、誠に有難うございました。

24時間ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは
耳の後ろに
白い斑があります。

対馬野生生物保護センター（ヤマネコセンター）**0920-84-5577** ※24時間対応

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日の場合は開館 翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

対馬の環 News



ヤマネコステーションツアーを開催しました！

令和5年3月19日に内山盆地の里やまねこ会と環境省の共催で、内山のツシマヤマネコ野生順化ステーション（以下ヤマネコステーション）にて見学ツアーを行いました！

普段は非公開のヤマネコステーションですが、一体どんな取り組みをしているのか？どんな環境で野生順化訓練をするのか？是非皆さんに、知っていただきたいという思いで開催しました。



野生順化ケージ内の散策や、短時間ですが、現在ヤマネコステーションで飼育している「りん」のお披露目も行いました。

普段見ることができない施設や生のヤマネコに、皆さん大盛況！

またこのようなイベントを企画したいと思いまので、その際は奮ってご参加ください。

新職員のご挨拶

皆様、はじめまして！日本最北端の稚内から日本最北西端の対馬へ赴任してきました柴原です。

みなさんと一緒に日本の自然・文化を守り紡いでいければと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



対馬野生生物保護センター
首席自然保护官

しばはら たかし
柴原 崇

みなさん初めまして！2023年5月より対馬野生生物保護センターにてアクティビ・レンジャーに着任いたしました。金子涼太朗です！！！東京出身、生き物大好き34歳独身です（笑）。前職は動物病院で動物看護師をしていました。対馬の大自然の素晴らしさに驚嘆の毎日です。どうぞよろしくお願ひします！



対馬野生生物保護センター
自然保护官補佐

かねこ りょうたろう
金子 涼太朗

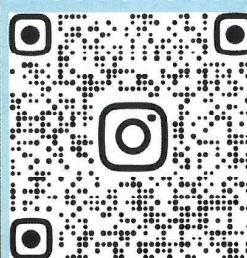
はじめまして！大分よりやって参りました、千原と申します。新型コロナウィルスに苦しめられた大学生活を送ってきましたが、ようやく収束してきたということで、積極的にイベントや町おこし、ボランティア等々に参加して行きたいです！各所でお会いした際はよろしくお願ひします！



ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
自然保护官補佐

ちはら ゆうと
千原 悠斗

インスタ、はじめました！



TWCC2021

対馬野生生物保護センター及び野生順化ステーションのInstagramを始めました！

保全活動の様子や、ここでしか見られないヤマネコの姿などを掲載していますので、ぜひチェックしてみてください！

トラ吉の追跡調査が終了しました！

前号（95号）で野生復帰をお知らせしたトラ吉（Mh-98）の野生復帰後の経過観察（無事に生きていけているか、治療したところは問題ないか等）を行うために実施していた追跡調査が終了しましたので、お知らせいたします！

トラ吉の追跡調査期間は2022年8月20日～2023年3月11日までの約6ヶ月となり、ツシマヤマネの交通事故が多発する時期（10～12月）や繁殖シーズン（1～3月）と重なっていたため、道路近くにいる頻度や好んで使用する場所などのデータを得ることができました。今回得られたデータは今後のヤマネコの保全活動に活用していく予定です。

なお、トラ吉は追跡後の検査にて、交通事故によるケガ（骨盤骨折）の状況があまり良くなかったため、治療を行っており、今後については専門家との協議を進めます。

最後に追跡調査地周辺にお住まいのみなさまには、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。



ステーションだより つむぎ・りん、野生順化訓練に奮闘中！



現在、ステーションでは福岡市動物園生まれの「つむぎ」と「りん」の2頭のヤマネコが野生順化訓練に取り組んでいます。

“人工哺育・兄弟なし”で育った「つむぎ」は、これまでの訓練個体に比べると、ネズミ類の気配に気付くのが遅れたり、噛み殺しが上手くできなかったりと、訓練に苦労していました。アオダイショウ（ヘビ）の訓練にも苦労しており、これまで捕獲訓練を8回行っていますが、捕まえられていません。

一方、“自然哺育・兄弟あり”で育った「りん」は、ネズミ類の訓練は順調でしたが、池の中の魚には興味が薄いようで“中々捕獲してくれません。

2頭の訓練は一筋縄にはいきませんが、管理区域での訓練が終われば対馬の自然を再現した広大な野生順化ケージでの訓練となります。1日も早く野生順化ケージ内の森の中を悠然と歩く姿を見たいです。



生き物クイズ

次のうち、ダニが媒介して感染症となるものはどれでしょう？

- ①SFTS（重症熱せい血小板減少症候群） ②日本紅斑熱 ③ツツガムシ病 ④ライム病

答えはウラ（4ページ）をみてね！



★ 「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

動物園で"ヤマネコの赤ちゃんが誕生!"

令和5年4月23日に、名古屋市の東山動植物園でツシマヤマネコの赤ちゃん1頭が帝王切開にて誕生しました！

母親は「レイラ」(No. 89)、父親は「勇希」(No. 83)で、このペアでは2年前に産まれた「さご」(No. 93)、「さすな」(No. 94)に次いで3頭目の赤ちゃんとなります。

これまでの傾向を見ると、同じペアで複数回出産がみられることから、相性はとても重要な要素だと思われ、来年度以降も同ペアでの繁殖には期待が持てそうです。

今後、赤ちゃんは人工哺育となります。順調に成長していってくればと思います。



性別：メス
名前：したる
(対馬の志多留地区より)

写真提供：東山動植物園



今回の対馬のあの人この人は…

海街ベーカリー
No. 30 日本最北西店 山内こうすけさん



対馬でパン屋さんを始めようと思ったきっかけは何ですか？

「Ghost of Tsushima」という元寇をモチーフとしたゲームがきっかけで対馬を知りました。実際に来てみると、とてもいい所で、まだ大学がオンライン授業だったこともあり移住することにしました。

パン屋を始めたきっかけは、小さい頃からパン作りに興味があり、製パンのバイトをしていたことです。

ツシマヤマネコに会ったことはありますか？

夜道を走っていると、鹿やテンにはよく出くわすのですが、ヤマネコはまだ見かけたことがありません。一度対馬野生生物保護センターで見たヤマネコが可愛かったので、ぜひ野生のヤマネコにも出会ってみたいです！

商品のアピールポイントや今後の目標は？

長時間発酵することで旨みのある生地作りをしています。ねこ型食パン、藻塩や鹿肉を使った惣菜パンなど対馬にちなんだメニューも展開していくかと思います。今後は、供給不足となっている卵やバターが入ってき次第、本格的に営業する予定です。



店舗情報

場所：対馬市上対馬町古里4-2

TEL: 080-2658-7668

※当日、営業しているかは、一度、ご連絡ください。



今日の一枚 by 柴原



ヒトツバタゴの花も咲きはじめた4月の晴れた日。
青空とは裏腹に風が強く、海には白波が立つような中、
首をすくめながら山道を歩いていると足下に紫色の愛らしい花が目に入ってきた。
花の名前は「タツナミソウ」。
小さな花が集まって波濤を表したかのような形からその名前がつきました。
目の前の荒々しい玄界灘の白波と比べて大変優しい白波に春を感じた一日でした。

いきものクイズの答え

正解はすべてです

今からの季節に多く見られるダニですが、病原菌を保有するダニに咬まれるとクイズの問題のような症状に感染してしまう恐れが、、！

特に夏場は暑く、薄着になりがちですが、草むらなどに入る際には長袖・長ズボン、虫除けスプレー等、対策を忘れずに！



大怪我をして保護された ヤマネコたちのその後…



「シマト」は怪我のため3本足（前2本、後1本）となりましたが、この10月に野生に戻りました。現在は、野生で実際にどれだけ生活できるかの追跡調査中です。一方、野生生物保護センターで治療していた「トラ吉」と「Beny Sumo」の2頭は、それぞれ九十九島と東山の動植物園へと旅立つことになり、今後は繁殖に関わることになります。「トラ吉」は昨年度に野生に一旦戻してみましたが、交通事故の後遺症のため最終的な野生復帰の願いはかないませんでした。人生最後の野生での数カ月をどのように感じたでしょうか。「Beny Sumo」も3本足（前1本、後2本）です。「シマト」と足の本数は同じですが、残念ながら野生復帰はできませんでした。再び野生に戻りたかったのでしょうか。

これら3頭は大怪我をして同時期に野生生物保護センターで生活していました。我々は救護したヤマネコそれぞれに、最終的にどうしてあげるべきか、数が少ないヤマネコ全体の未来のためにどうすべきかを考え方向性を決めてきました。「シマト」のようなハンディキャップのあるヤマネコを野生に戻すことに関しては様々なご意見があると思われますが、我々はシマトだったら野生で生きられると判断しました。現在彼は対馬で野生のツシマヤマネコとして暮らしています。今後とも見守ってあげてください。



▲シマト♂



▲トラ吉♂



▲Beny Sumo♂

万が一ツシマヤマネコを車で轢いてしまっても、故意でなければ罪に問われることはありません。轢かれてすぐのツシマヤマネコはまだ生きている場合があり、迅速な通報がツシマヤマネコの命を助けることに繋がります。もしもツシマヤマネコを轢いてしまった場合や、うずくまっているツシマヤマネコを見かけたら、下記の電話番号までご連絡のほど宜しくお願ひいたします。

24時間ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは
耳の後ろに
白い斑があります。

対馬野生生物保護センター（ヤマネコセンター） 0920-84-5577

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10:00～16:30（入館は16:00まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日および振替休日の場合は開館、翌日火曜日に休館）





やまねこ News

ばいばい！！「つむぎ」・「りん」



◀つむぎ♂
2022. 4 に福岡市動植物園で誕生。2022. 12 にステーションへやってきた。人工哺育で育った一人っ子。



◀りん♀
2022. 7 に福岡市動植物園で誕生。2023. 1 にステーションへやってきた。姉妹の No. 100千ヨコと育った。

2023年1月からツシマヤマネコ野生順化ステーションで野生順化訓練を行っていた「No. 97つむぎ」・「No. 99りん」ですが、一連の訓練を終えたので、将来の繁殖に向けて「つむぎ」は九十九島動植物園に、「りん」は東山動植物園に移動しました。2頭とも野生順化ケージで野生のネズミ類や鳥類を捕獲することが出来るようになりました。動物園でも上手く繁殖してくれることを祈っています。

ようこそ！！「ひかり」・「したる」



◀ひかり♀
2023. 7 に上県町桜滝で交通事故に遭い保護。当時まだ子猫だった。2023. 10 にステーションへやってきた。



◀したる♂
2023. 4 に東山動植物園で誕生。2024. 1 ~ 2 にステーションへやってくる予定。名前の由来はもちろん、上県町志多留から。

2023年7月に上県町桜滝で幼獣の状態で交通事故から救護された「Mk-109ひかり」が、野生生物保護センターでの治療とリハビリを終えたため、同年10月にステーションに移動しました。「ひかり」は事故の影響で母親と離れ離れになってしまったため、ステーションで野生順化訓練を受けてから野生下に放獣する予定です。

2023年4月に東山動植物園で生まれた「No. 103したる」が、将来のステーションでの繁殖に向けて、2024年1~2月に移動する予定です。「したる」は野生順化ケージでの飼育を行わないため一連の野生順化訓練を行う予定はありませんが、管理区域での飼育を通して様々な知見を集められればと考えています。

新職員のご挨拶

はじめまして。7月にツシマヤマネコ野生順化ステーションに着任いたしました谷口です。前任地は那覇の事務所でした。ヤマネコをはじめ対馬の自然環境の保全に少しでも貢献できればと思いますので、よろしくお願ひします。

対馬自然保護官事務所巣原事務室 自然保護官
谷口 晃基 (たにぐち こうき)



Instagram、やってます



TWCC2021

保全活動の様子や、ココでしか見られないヤマネコの姿などを掲載していますので、ぜひチェックしてみてください！



ツシマヤマネコ交通安全ポスター展入賞作品が決定しました！

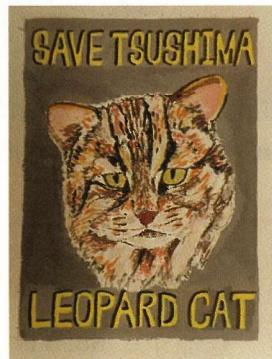
第12回目となるツシマヤマネコ交通安全ポスター展の入賞作品が決定しました！今年度は島内のみなさまから、小中学生の部・一般の部合わせて計190点もの作品が集まりました。たくさんのご応募、本当にありがとうございます。

また、11月3日（金）に開催した「とらやま祭りwithわんにゃんフェスティバル」内にて今回入選されたみなさまの表彰式を行いました。受賞されたみなさま、おめでとうございます！ポスター展は2月12日（月）まで野生生物保護センターにて展示していますので、ぜひご覧下さい！

最優秀賞作品



小・中学生の部
にしやま ふみ
西山 文さん



一般の部
たちばんだりゅういち
橋田 竜一さん

ポスター展展示日程

対馬野生生物保護センター

2024年1月4日（木）～2月12日（月）

ステーションだより ~ステーションのそばイベント~

ステーションでは、ヤマネコが野生順化訓練をするケージにそばや麦を育てて、実を食べるネズミ等の小動物を増やし、ヤマネコのエサ動物を増やすこともあります。

普段は非公開の施設ですが、今年からヤマネコ応援団と共に一般の方々を募り、そばまき（夏）、そばの花見（初秋）、そば刈り（秋）、そばの脱穀（冬）のイベントを開催しています。ツシマヤマネコに詳しくなり、気軽な職場体験ができると好評です。来年もイベントを開催する予定ですので、興味を持たれた方は是非参加してくださいね。



▲ステーションのツシマヤマネコ講義もあります。



▲そばまきの様子。芽が出来ますように~とみんなで播きました。



►そば刈りでは、みんなよく働いて、なんとか刈り終わりました。

いきものクイズ



対馬野生生物保護センターで飼育していたツシマヤマネコを見ることができた順にならべてください
(①つじじ ②福馬 ③かなた ④つしまる) 答えはウラ（4ページ）をみてね！

対馬野生生物保護センター来館者30万人達成！！



▲30万人目の来館者様。来てくれて
ありがとうございます！

野生生物保護センターは令和5年8月31日に来館者30万人を達成しました。平成9年に開館以来、島内外の多くの方々にお越しいただき、皆様の温かい支援によりここまで来られましたことに感謝申し上げます。これからもツシマヤマネコをはじめとする対馬の自然の素晴らしさ、大切さを伝える展示・体験を提供していきます。



今回の対馬の人々この人は…



No. 31 一般社団法人対馬CAPP A 理事 末永 通尚 さん

すえなが みちなお
末永 通尚 さん

どのような活動をされていますか？

海流や風などの影響で様々なごみが漂着している対馬市の海岸をきれいにするための活動を行っています。主な活動としては3つです。

1つは海岸清掃ボランティア活動の運営です。対馬の美しい海岸を取り戻すために清掃ボランティア活動を行っており、ボランティアの参加募集から実施、成果情報の発信にかけて行っています。

2つ目は普及啓発活動です。島内の学校を対象に出前授業をったり、企業や大学関係者などを対象とした「環境スタディ」というプログラムを開催しています。環境スタディは海岸清掃とシーカヤックを利用したプログラムで、大量の漂着ごみという負の面と、海で遊ぶことの楽しさといった正の面を同時に感じてもらうのがねらいです。

3つ目は継続的に行っている海岸のモニタリング調査です。対馬市内6カ所の海岸で漂着ごみの調査をし、ごみの量やごみの出所を記録しています。



活動を始めたきっかけはなんですか？

元々、有志によって立ち上げられた任意団体「美しい対馬の海ネットワーク」の活動で、海岸清掃を行っていましたが、どれだけごみを撤去してもごみが流れてくるという状況がありました。そこで、海岸清掃だけでは根本的な解決にはならないという考えに至り、海岸漂着物対策のさらなる発展を目的に、一般社団法人対馬CAPP Aを設立しました。

今後の取り組みの目標などはありますか？

対馬は海流などの影響から他国由来のごみも多く漂着しています。この現状を踏まえ、環境スタディなどの普及啓発活動をよりグローバルに発展させていき、漂着ごみを通じて他国との交流を増やすことで、対馬の漂着ごみの現状や世界的な課題でもある海洋汚染に关心を持ってもらい、漂着ごみ問題の改善に貢献していきたいです。

一般社団法人対馬CAPP A 対馬市美津島町箕形29 TEL:070-4281-6588 mail:info@cappa.or.jp

今日の一枚 by 南

秋のある日、林道でヤマネコ調査をしていると、立派な「ヤマナシ」の実に遭遇。地面には既に動物達に食べられたであろう実の残骸が。なんと素晴らしい実りの秋、きっと美味しいに違いない。いざ口に含むと、砂利を噛んだような粒感の強さ、味は渋く酸っぱく、それでいて非常にジューシーなため、噛むたびにだくだくと果汁が溢れ口内をヤマナシが支配していきます。対馬では「コッポウナシ」(コッポウ=頑固)と呼ばれるそう。お試しあれ。



いきものクイズの答え

④つしまる→①つづじ→②福馬→③かなた

初代:つしまる (2003.12~2007.1) 2代目:つづじ (2007.3~2008.6) 3代目:福馬 (2008.6~2018.12) 4代目:かなた (2019.11~)

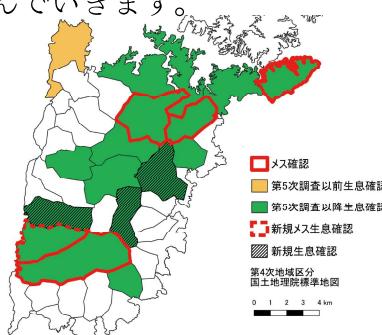
とらやまの森



厳原町上槻で確認されたツシマヤマネコ

一度は生息の確認が途絶えてしまった下島のヤマネコですが、平成19年3月に厳原町内山で生息が確認されて以来、少しずつ生息確認地域が広がっています。生息確認は主に自動撮影カメラと痕跡調査によって行われています。令和5年度には、新たに3カ所（厳原町北里・下原・上槻～久根浜周辺）で生息が確認され、1カ所（厳原町久根田舎周辺）ではメスの生息が確認されました。上島に比べると下島でのヤマネコの生息はまだ安定しているとは言えませんが、島内どこでもヤマネコに遭遇する可能性があります。これにより、上島で発生しているような交通事故や誤認捕獲などの人為的な要因での死傷が下島でも増加する可能性があります。実際に、下島と上島を結ぶ美津島町大山では、今年の1月2日と2月17日に立て続けに交通事故が発生しました。また、美津島町洲藻では昨年4月に誤認捕獲されたヤマネコ（Beny Sumo）

が負傷し、保護されています。下島のヤマネコの生息状況には明るい兆しが見えています。この流れを断ち切らないよう、今後も生息を阻害する要因への対策に取り組んでいきます。



※第5次調査は平成30年～令和元年実施

目撃情報を募集しています。

下島での生息確認が調査でわかつてきましたが、依然情報は少ない状態です。もし、ヤマネコ（らしき）生き物を見かけたら、対馬野生生物保護センター、ツシマヤマネコ野生順化ステーションまでご連絡ください。みなさまの情報がヤマネコの保全に役立ちます。

ヤマネコ通報対応中



耳の裏が白い
のが特徴です

対馬野生生物保護センター 0920-84-5577(24時間対応) ツシマヤマネコ野生順化ステーション 0920-57-0101(8:30～17:15)

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10:00～16:30（入館は16:00まで）
【休館日】月曜日（月曜日が祝日及び振替休日の場合は開館。翌日火曜日が休館になります）

やまねこ News

動物園で 2024 年に誕生したヤマネコたち

今年の繁殖は名古屋市東山動植物園が大舞台でした。センターから移動した Beny Sumo (オス) はレイラ (メス) とのペアで、そしてステーションから移動したりん (メス) は勇希 (オス) とのペアでそれぞれ繁殖に成功しました。各 3 匹と 2 匹の仔猫が生まれ、久しぶりに動物園などの飼育頭数は大幅増加し、計 36 頭となりました (6 月 1 日時点)。

Beny Sumo (ベニー スモ) はくくり罠による錯誤捕獲のため左前肢を失っており、ハンディキャップがあるヤマネコでは繁殖が難しいと言われてきました。また、りんも移動後すぐのメスの繁殖は難しいと言われてきました。2 匹ともそのような逆風を跳ね返してくれた結果となり、とても嬉しい報告でした。

動物園で自然分娩した場合、飼育員が仔猫に触れるのは何らかの異常を認めた時だけです。このように人ができるだけ介入しないのは、人の臭いがつくことで

母親が仔猫を殺してしまうことを防ぐためです。母親には餌を与えますが、できる限り刺激を与えないように産箱等に設置したカメラによる観察を続け、生後約 2 カ月後に行う最初の健康診断やワクチン接種の時に初めて飼育員が仔猫に触ることになります。



りんと赤ちゃん (東山動植物園提供)



東山動植物園正門 (東山動植物園提供)

Mk-109 「ひかり」について

令和 5 年 7 月に対馬市上県町樺瀧の路上で救護された当時、幼獣だった「Mk-109 ひかり」は、対馬野生生物保護センター (上県町) での治療、リハビリを経て、同年 10 月からツシマヤマネコ野生順化ステーション (厳原町) で野生順化訓練を受け、令和 6 年 4 月に放獣 (野生に返すこと) しました。放獣後、生存

状態の確認を目的に追跡調査を実施していましたが、5 月 18 日に地域の方から衰弱したヤマネコがいるとの通報があり、救護に駆けつけたところ、ひかりの死亡が確認されました。今回の件に関しては、大変残念な出来事であります。現在検証中であり、今後の保全事業に活かしていきたいと考えています。

対馬の環 News

今回の対馬あの人、この人は…

No.32 現：一般社団法人 MIT（元対馬野生生物保護センター飼育スタッフ）

ありかわ

有川 ゆう さん

現在はどんなお仕事をされていますか？

今は一般社団法人 MIT（サステナブルショップ・ミット）に勤めています。販売を担当しています。ツシマヤマネコのグッズや「佐護ツシマヤマネコ米」というお米の販売が主な仕事です。また、お米を作っている「佐護ヤマネコ稻作研究会」の事務局も担当しています。

有川さんは生まれも育ちも対馬ですが、対馬の魅力はどんなところでしょうか？

小中学校の頃は対馬より都会に憧れていて、幼少期にはそんなに魅力を感じていなかつたんです(笑)。でも一度都会に出て

Uターンしてからは、普通に暮らしているだけでシカやイノシシ、テンに出くわし、ヒトと生き物が同じ場所に共存しているのを感じるようになりました。対馬での暮らしはヒトと生き物どっちが良い暮らしをするかではなく、お互いがより良い暮らしをするためにはどうしたら良いかを考えさせられるところが魅力です。対馬って「ちっちゃな地球」だなあと感じています。

今後の展望や目標をお聞かせください。

対馬野生生物保護センターで飼育員の仕事をしていたときは、ヤマネコへの関心をもっと高めてほしいと思っていましたが、環境を豊かにするためには、まずはヒトの暮らしを豊かでなければならないと考えるようになりました。ヒトがより良く暮らすことで環境にも良い影響があると感じています。今後は、対馬で「木育」を進めたいなと思っています。対馬にはたくさんの木がありますが、それを活用して資源も経済も循環させることが重要です。森を循環させ、対馬の子どもたちに対馬の木で作ったおもちゃに触れてもらい、自然の豊かさと貴重さを体験してもらいたいです。ヤマネコが好きな人もそうでない人も平等に楽しめるおもちゃを届ける、だけど最終的にはヤマネコのためになっちゃうようなプロジェクトを作りたいです。

店舗紹介

サステナブルショップ・ミット～いきもの雑貨店～ 〒 817-1602 長崎県対馬市上県町佐須奈甲 562-24
TEL : 0920-84-2366 営業時間 : 9:00 ~ 17:30 (不定休)

新職員のごあいさつ

4月に新たに加わったセンターのスタッフをご紹介します



対馬野生生物保護センター
アクティブレンジャー

もりた ゆうき
森田 夕貴



対馬野生生物保護センター
事務補佐員

こみや はるな
小宮 遥奈

アクティブレンジャーになりました森田です。対馬に来る前は、水族館で魚類・水生生物の飼育員をしていました。対馬の生き物が安心して暮らせるように日々頑張ります！よろしくお願ひします。

事務補佐員になりました小宮と申します。今年の春に高校を卒業いたしました。生まれも育ちも対馬ですが、まだまだ知らないことばかりなので日々学んでいきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

舟志の森自然観察会の開催

6月2日（日）上対馬町舟志地区で舟志の森推進委員会主催の自然観察会を開催しました。参加者は森の散策をしながら、講師である元島おこし協働隊の掛澤明弘さんから植物等の説明を聞き、森の3カ所で、日当たりの良さや土の湿り具合、生えている植物の種類などを比べてもらいました。

最後は「今よりもよりよい森にするにはどうすればいいか？」を各自で考えてもらい、同じ森の中でも場所によって違いがあり、よりよくするための方法も異なることを、楽しく学習しました。



センターバックヤードから

今回の一品 カワセミの羽

対馬野生生物保護センターには、1階の展示以外にも標本室があります。一般公開はされていませんが、『とらやまの森』でご紹介できればと思います。今回はカワセミの尾羽をご紹介します。カワセミといえば清流の女王と言われる特有の翡翠色の美しい体ですが、羽の根本部分は灰色で意外に地味な羽根ですね。



対馬にいる生き物を紹介します

第18回 ツシマフトギス

褐色の体に黄緑色のお腹が映えるツシマフトギスは、対馬固有のバッタです。植物やミミズなどを食べる雑食性で、夏頃に見ることができます。お尻にある棘のようなものはメスのみが持っている産卵管という器官で、これを地面に刺して卵を産みます。翅が退化していて人が寄っても飛んで逃げることができないため、じっくり観察することができる生き物です。





「ツシマヤマネコの交通事故に遭ってしまったら…

ツシマヤマネコと交通事故

平成4年から令和6年12月1日時点までのツシマヤマネコ（以下「ヤマネコ」）の交通事故の発生件数は148件に上ります。平均すると年間4～5件発生しており、事故時に死亡していた事例は135件（約91%）で、ヤマネコにとって深刻な脅威となっています。

運転中にヤマネコと接触してしまったら



たとえ注意して運転していても、ヤマネコとの接触が避けられない場合があります。万が一接触してしまった際には、安全な場所に停車し、対馬野生生物保護センターにご連絡をお願いします。なお、ヤマネコが道路上にいる場合は、二次事故を防ぐため、可能であれば素手で触れずに路肩へ移動させてください。また、ヤマネコの交通事故が発生してしまった場合、事故現場周辺に他のヤマネコが出現する恐れがあります。事故現場周辺での車の減速と目撃情報の提供にご協力ください。負傷したヤマネコや死体を発見した場合においてもご連絡ください。対馬野生生物保護センター（0920-84-5577）は24時間通報対応しています。※ヤマネコとの偶発的な事故で、罪に問われることはありません。

交通事故に遭わないために

秋から冬にかけてヤマネコの交通事故が増加します。事故を防ぐために「ヤマネコ事故多発」の標識を見かけたら、速度を落とし、十分に注意して走行してください。また、夜間は車のライトの光が動物の目に反射して光るため、ハイビームにすることで早期に発見することができます。



ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは耳の後ろ
に白い斑があります

対馬野生生物保護センター
0920-84-5577 (24時間対応)

ツシマヤマネコ野生順化ステーション
0920-57-0101 (8:30～17:15)

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10:00～16:30（入館は16:00まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日および振替休日の場合は開館し、翌日火曜日が休館となります）



おかえり「さすな」、ようこそ「チョビ」



京都市動物園から「さすな」が、福岡市動物園から「チョビ」がツシマヤマネコ野生順化ステーション（以下「ステーション」）にやってきました！昨年から飼育している「したる」と合わせて3頭の飼育になります。



京都市動物園提供

▲ さすな ♀

2021年4月に東山動植物園で誕生



福岡市動物園提供

▲ チョビ ♂

2021年5月に対馬野生生物保護センターで保護

「さすな」は、2021年末～2022年にかけてステーションで野生順化訓練を行った個体です。よこはま動物園ズーラシアで飼育されている「こう」と柵越しで飼育し、お見合いも行いました。

「チョビ」は、2021年に対馬野生生物保護センターにて保護された個体です。動物園に導入され、ヤマネコの繁殖に貢献していました。

ステーションで繁殖に取り組みます

ステーションは新しい取り組みとして、さすな・チョビの2頭で繁殖を行います。ステーションで繁殖を行うことには大きな意味や目的があります。広大な順化ケージを活用してヤマネコの生息地の環境に近い条件で繁殖を行うことで、繁殖行動に関する生態学的な知見を収集し、ヤマネコの保全に活用したいと考えています。

また、将来的には、傷病などの理由で一時的に保護収容した野生個体を繁殖に用いたあと野生に戻すことで、野生個体群への影響を最小限にしつつ飼育下個体群の遺伝的多様性の維持に貢献することが期待されています。

2月～4月頃にペアリングを行う予定です。ステーションでは、日本動物園水族館協会と連携して、万全の体制で繁殖に取り組んでいきます。この取り組みが少しでも今後のヤマネコの保全に貢献できるように努めます。

HPがリニューアルされました！



Instagramも合わせてご覧ください



TWCC2021

対馬の環 News

「シマヤマネコ交通安全ポスター展作品展示中

ツシマヤマネコ交通安全ポスター展は、ヤマネコの減少要因の一つである交通事故の現状を多くの世代の方々に知ってもらい、交通安全や自然保護について考えてもらうことを目的に行っています。今年で13回目を迎える「ヤマネコの交通事故よ、なくなれ」をテーマに、島内から150点もの作品が寄せられました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

受賞作品の表彰は10月14日に対馬野生生物保護センターで開催された「とらやま祭り」で行いました。

ご応募いただいた全作品は1月29日
まで豊玉文化会館で展示していますの
で、ぜひご来場ください。

最優秀賞作品



小・中学生の部



一般の部



とらやま祭り表彰式の様子

ステーションだより

秋のステーションツアーアイデア

ステーションは普段は非公開の施設ですが、年に数回、一般の方々を対象にイベントを開催しています。11月9日はヤマネコについて学んだあと、野生順化ケージ内に足を運び、施設内を見学しながら、生き物の痕跡を探索しました。

その後、ヤマネコの餌動物（ネズミなど）が増えるように願いながら、2番ケージの畑に小麦を播きました。小麦は無事に発芽して、すくすく育っています。



▲麦まきの様子



▲ステーションツアーの様子



▲麦まきから10日後の様子

クイズ

次のうち、対馬に生息する在来のカエルの種数を示したもののはどれでしょう？

- ①3種類 ②4種類 ③5種類 答えはウラ（4ページ）をみてね！

対馬にいる生き物をご紹介します！

第19回

ヌマガエル

学名：*Fejervarya kawamurai*

外来種はなにも他国から来た生物ばかりではありません。この「ヌマガエル」は、日本では主に西日本に生息しています。しかし近年、本来生息していなかったはずの関東地方やここ対馬を含む長崎県の島嶼部などに侵入しています。



こういった本来の生息地でない地域に人为的に移動された生物を「国内外来種」といいます。対馬には在来のカエルが3種類（ツシマアカガエル、チョウセンヤマアカガエル、ニホンアマガエル）がいますが、ヌマガエルとの競合が懸念されます。

※前号のツシマフトギスの紹介文にて、誤った情報をお伝えしておりました。訂正内容は以下の通りです。

訂正前：「対馬固有のバッタです。」 訂正後：「対馬固有のキリギリスです。」



今回の対馬のあの人この人は

No. 33 一般社団法人 対馬里山繁営塾 理事 川口 幹子さん

かわぐち もとこ
川口 幹子さん

どのような活動をされていますか？

対馬の自然や歴史、文化を活かし、観光事業と教育事業の2つを展開しています。



観光事業では、農林漁業や対馬の暮らしを体験できる体験型民宿の手配やトレッキングガイド、ヤマネコ探索ニヤイトツアーのようなツアープロモーションを実施しています。

教育事業では、修学旅行や企業研修の受け入れ、教育機関での講演などを行っています。また、昨年4月からは仁田小学校、佐須奈小学校の児童を対象に学童保育を始めました。

活動をはじめたきっかけはなんですか？

島おこし協働隊として対馬に移住し、活動を行う中で、対馬の自然資源を最大限に活かした暮らしや自然と共生している姿に感銘を受け、自然と共に生きる地域の営みを後世に語り継いでいきたいと考えたのがきっかけです。

今後の取り組みの目標などはありますか？

観光利用による自然環境損傷の防止やエコツーリズムのさらなる展開のために、自然環境を活用した観光利用のルール作りや関係者間で連携の推進に取り組んでいきたいです。

また、現在実施している学童保育の取り組みについても拡充させていきたいと考えています。

一般社団法人 対馬里山繁営塾 対馬市上県町志多留307

TEL:0920-85-1755 mail:contact@satoyama-keieijuku.com

クイズの答え

正解は①です。対馬には、在来種としてツシマアカガエル、チョウセンヤマアカガエル、ニホンアマガエルの3種が生息しています。



舟志の森自然観察会

5月31日(土)に舟志の森自然観察会を開催しました。実際に見て、触ることで対馬の自然について詳しく知ってもらおうというイベントです。

当日は天候にも恵まれて気持ち良く散策することができました。防鹿柵の中では、指定した植物を森の中から見つけてくる植物クイズを行いました。皆さん熱心に探されており、植物を探すうちに柵の内側と外側で植生が全然違うことを実感できたと思います。自然の美しさと繊細さに気づくことは、保全の一歩！今回のイベントで多くを学ぶことができました。

新職員挨拶

4月に新たに加わった職員をご紹介します！



4月1日付けで自然環境局野生生物課から異動してきました皆藤琢磨です。入省以来、ずっと野生生物の保護に関する業務に携わってきました。対馬では現在、六度目となるツシマヤマネコの総合調査の真っ最中です。皆さんに明るいニュースをお届けできるよう、努めてまいります。

上席自然保護官 皆藤 琢磨

今年度から対馬自然保護官事務所の自然保護官補佐として従事しています。幼少より生き物が好きで、この度、対馬の自然に惹かれてやってまいりました。今は生き物探しを満喫しており、新しい発見の日々にワクワクしております！

アクティブレンジャー 羽部 優衣

4月から生態系保全等専門員として着任しました松下佳祐です。主にシカの調査や対策を担当します。対馬の豊かな自然を、地域の皆様とともに守って行きたいと考えています。どうぞこれからよろしくお願いします。

生態系保全等専門員 松下 佳祐



初めて！北海道からやってまいりました比嘉と申します。出身は兵庫、大学は北海道、新卒で対馬と日本全国を横断するような人生を歩んでいます。対馬の自然に魅了された私ですが、その魅力を多くの方にも伝えていけるよう頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

アクティブレンジャー 比嘉 洋太

東京生まれ名古屋・静岡育ちの仲田みはすです。島暮らしは人生初めてですがツシマヤマネコを目指してやってきました。対馬での生活は刺激にあふれていてドキドキがいっぱいです。精一杯励んでまいりますのでよろしくお願いします！

アクティブレンジャー 仲田 みはす

2025年8月15日 対馬野生生物保護センター
広報誌100号 〒817-1603 対馬市上県町佐護棹崎公園内
TEL: 0920-84-5577 E-mail: RO-TSUSHIMA@env.go.jp

2025
夏号

とらやまの森

TWCC HP▼



【対馬野生生物保護センター 開館日変更のお知らせ】

対馬野生生物保護センターでは人員体制の変更に伴い、原則月曜休館に加え火曜日も休館日とさせていただくことになりました。

2025年3月31日まで 月曜休館(祝日を除く)

2025年4月1日から 月曜・火曜休館(祝日を除く)

皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願ひいたします。

※詳細は対馬野生生物保護センターHPのお知らせをご確認ください。

URL: <https://www.torayama-twcc.jp/topics/2025/0214.html>

とらやまの森100号を記念して、九州地方環境事務所長からコメントをいただきました！

ばんしゅう かつじ
環境省九州地方環境事務所 番匠 克二 所長



1998年5月1日に創刊された当センターの広報誌「とらやまの森」が今回で第100号を迎えました。

当時は、ヤマネコの現状を把握することだけで精一杯でしたが、多くの方々のご協力により、調査体制を確立し、生息頭数の把握、救護や飼育を滞りなく行うことができるようになりました。当センターは行政機関による運営で、職員の交代が多いところ、日頃変わらずのご支援を頂戴できることについて、心から感謝を申し上げます。センターへや島を離れた後も、様々な分野の立場から

関わり、ご支援をいただいている方がいらっしゃいます。

今、世界では生物多様性の損失を止め反転させる「ネイチャーポジティブ：自然再興」の実現に向けた機運が高まっています。環境省ではヤマネコを象徴とする対馬の豊かな自然環境を守って来られたあらゆる分野・地域の方々と連携し、さらに、ネイチャーポジティブの観点からその輪を広げて取り組みを強化し、これからも地域の発展に貢献して参ります。

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10:00 ~ 16:30 (入館は16:00まで)

【休館日】月・火曜日・年末年始(祝日を除く)





かなた 10歳のお誕生日！

対馬野生生物保護センターで飼育しているツシマヤマネコの「かなた」が今年の4月13日で10歳のお誕生日を迎えました。ネコの10歳は人間の年齢でいうと、50~60歳程でかなたも高齢になってきました。



これからもかなたをよろしくお願いします♪

ステーションだより ~今年度行った繁殖について~



ステーションでは今期の繁殖シーズンから、オスの「チョビ」とメスの「さすな」の繁殖に取り組みました。最初は柵越しのお見合いから始めて、「さすな」に発情が見られたら同居を行いました。「さすな」は「チョビ」を誘うような仕草を見せるものの、「チョビ」はその気がないようで、興味を示さないことが多く、残念ながら今期は交尾などの繁殖行動は見られませんでした。来期の繁殖に向けて、より良いタイミングで同居ができるように取り組んでいきたいと考えています。

◀ 2頭の微妙な距離感(上が「さすな」、下が「チョビ」)

たくさんのお祝いメッセージ
ありがとうございました！



ヤマネコ交通事故相次いで発生！運転注意！！

今年度に入り、すでに4件のツシマヤマネコの交通事故が発生しています。統計を取り始めた平成4年からの累計交通事故発生件数は156件です。(令和7年6月30日現在)事故の傾向として、ツシマヤマネコが活発に動く夕方～早朝の時間帯に事故は起こりやすく(図1)、交通量の多い国道上での事故が最も多いです(図2)。また、地域としては、万関橋以北では全域で事故が発生しており(図3)、特に美津島町では今年度3件の交通事故が発生しています。

近年、万関橋以南の下島でもツシマヤマネコの目撃情報が増えていることから、島内どこでも交通事故発生の可能性があり、運転の際は注意が必要です。

過去交通事故通報時刻

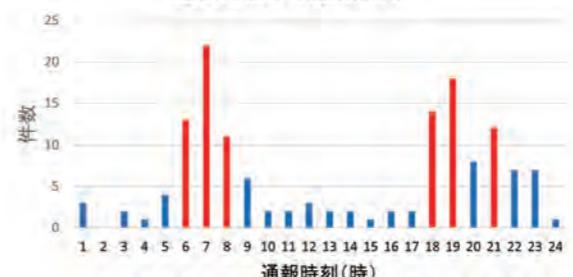


図1 過去交通事故通報時刻集計

※通報時刻記録がある145件で集計、事故当事者からの通報がばらないため発生時刻は不明

交通事故発生道路

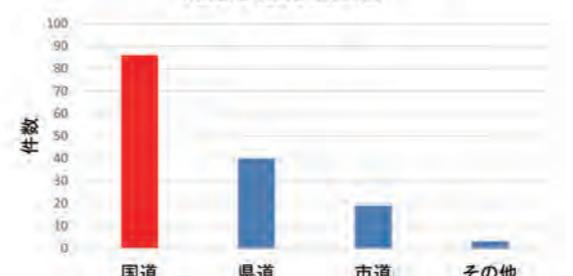


図2 過去交通事故発生道路集計

※その他:林道、農道、森林基幹道

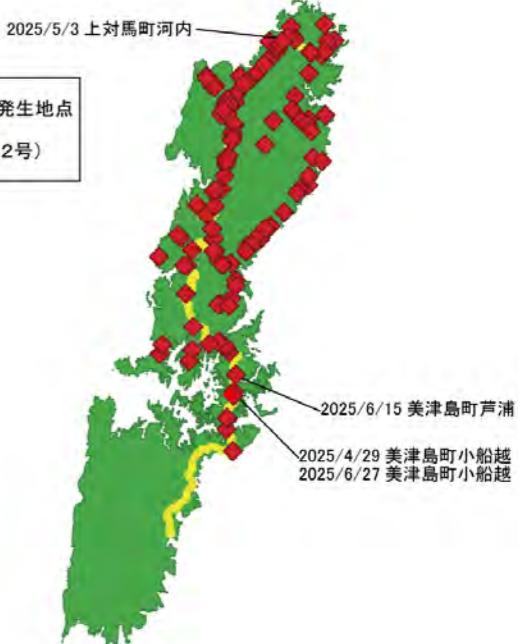


図3 過去交通事故発生地点

【第20回】対馬にいる生き物をご紹介します！



第2弾

カワウソの糞が見つかりました！

高知大学の研究グループのDNA分析によって、令和6年2月に採取された糞がユーラシアカワウソのものであることがわかりました。約5年ぶりに対馬でカワウソの生息が確認されたことになります。研究グループは、①過去に確認されていた個体がまだ生存していた、②韓国から新たな個体が漂着した、③世代交代により新たな個体が生まれた、のいずれかの可能性があるとしています。

対馬のカワウソについては、平成29年以降少なくとも4頭が生息していることが明らかになりましたが、令和元年度以降は生息不明の状況が続いていました。

もし、カワウソの目撃情報がありましたら、対馬野生生物保護センター(0920-84-5577)までご連絡をお願いいたします。